

## メイクピースの集いアピール

私たちは求めます。

戦争のない世界を。

私たちは求めます。

人が人の命を奪わない世界を。

私たちは求めます。

構造的な暴力によって人の尊厳が損なわれない世界を。

私たちは求めます。

人が共に赦し合い支え合う世界を。

私たちは求めます。

暴力ではなく対話という平和的手段によってこの世界の歩みが進められていくことを。

私たちは求めます。

私たち市民の声に政治が真摯に耳を傾けることを。

私たちは求めます。

私たち自身がこの世界にあって苦しみや痛みを負う人たちの声に耳を傾けていくことを。

そして、憲法九条が平和の礎として守られ世界へ発展していくことを心から願い求めます。

現在、憲法九条は危機にさらされています。政府の扇動により、改憲の動きが強硬に押し進められようとしている状況にあります。憲法は私たち市民が行政機関に対し政治を行う際の基本理念として与えたものであるにも関わらず、政府はそれを自分たちの都合の良いように改変しようとしています。私たちはこの市民の声をかえりみない改憲の動きに反対します。

この国が直面している国際的な政治衝突があることは確かでしょう。領土問題や国の安全保障問題など、近隣諸国との緊張関係の改善は重要な課題です。ただ、それらの諸課題は軍事力の保有によることでしか解決できないという国家の扇動やマスメディアの追従には疑問を感じずにはられません。現在の国家間の衝突の背後には、かつての戦争による遺恨が根深くあることを忘れてしまっているのではないのでしょうか。そもそも、そのようにして守られる“国益”が、本当に私たち市民の利益となるのでしょうか。そのような歴史の延長上に、現在の争いの絶えない中央主義的な社会が存在しているのではないのでしょうか。

多様な価値観が存在し、その多様性を受け止めて行くべき時代にあっても、変わらずにあり続ける真理があります。それは、「命の尊さ」を認め合うことです。人が人の命を奪わないという所からしか平和な社会は実現できないはずです。私たちはその礎としてある憲法九条を守り続けることを、本集会のアピールとして採択し世界へ発信して行きましょう。

(2013年5月3日 第10回 Make Peace の集い 参加者一同)